



路 政 僧

吾れ之を祝す。

唯だ世界平和と謂ひ、軍備縮小と言ふ、何れも言ひ易くして實現し難き業、相視む英米兩國が、相讓歩して均等原則の下に於て平時の必要を満すだけの弾力性ある方法を採用すると言つても、まだ軍備縮小の實現迄には距離のあること、幸に夫れが協定出來ても軍縮促進の一方途に不過、要は兩國が世界平和の精神を尊重し、從來樹立した新建艦計畫を放棄するに在る、そこ迄徹底するに非ずんば人類の抱懐する高遠の理想、世界和平のことも、痴人夢を見るの類に非ざるか。

列國不戦——軍縮を自ら高調しながら、新嘉坡軍港計畫の廢棄を聲明することの出來ない英國、世は勞働黨の内閣と爲つてもまだ保守黨の糟粕を嘗めむとするか、曾て世界に聲明して、日

七月二十四日、多邊的國際不戰條約效力發生の日、世界平和の爲に紀念すべき日、殊に國際聯盟外に在つた米國が、平和運動に加入したことに依つて全世界平和の爲の紀念日、此時に方つて英首相、米大統領、相呼應して、海軍建造計畫一部中止を聲明す、蓋し當

然のこと、各國間の鬭争を防止して世界を平和裡に置かむとする條約最終の目的の爲には、寧ろ軍備の如きは各國競つて之を撤廢すべきもの、中止繰延の如きは、まだ心裡に國際鬭争の惱あるを物語るものと可言、假令軍備が自衛の爲必要あるにせよ、世を舉げて人類平和の思想充満せば之も亦不要のもの、唯だ夫れに邁進するの首途として

英兩國の親善が維持さるゝとき、新嘉

坡軍港政策は極東の平和を攪亂するも

のと言つたでは無いか、夫れが組閣後

の今日撤廢の聲明を躊躇するところ

に、軍備縮小政策との矛盾がある、眞

に世界平和を祈念するに在らば、殊更

に南大洋の關門を扼して、千六百哩

の距離に我國を監視するの理由と必要

奈邊に在る、若し夫れ世界共通の惱、

失業者の爲に築城を維持して夫れを救

濟するに在らば間違つた計畫、失業者

續出しても事業を中止繰延する我が現

内閣の例に習へとは言はないが、失業

者の救濟には他に方途がある筈、失業

者を救濟せずして人を殺すか、戰爭の

手段に依つて人を殺すか其の得失言は

ずとも知れたこと、況んや他に方途あ

るに於ておや、筆や口の條約よりは、

世界の鬭争心を刺戟する此種事實を撤

廢せよ、英國勞働黨の爲に。

▽ △

世を擧げて不戰に熱中するとき、財

産權東支鐵道を中心とする露支の紛争

を見る、一つの皮肉と可言、新主義を

謳歌する支那も權益の爲には法の存在

を否定し、非侵略主義を標榜する露國

も他國に於ける權益を維持せむとす

る、何れも言ふ主義と行爲の矛盾と可

評。

國權回復の爲なら奉露協約の満期を

俟つか、夫れとも買收權を行使すべき

もの、之を排し暴力的に實力を以て回

復せむとす、假令夫れが露國の赤化背

信行動に原因してゐても、夫れには夫

れに對する合法的手段がある筈、支那

の國權回復熱は何人も之を同情し一日

も早く完成せむことを希ふ、併し夫れ

は合法的手段に於ての希望、然るに功

を急るに切な民國政府は、國內統一の

事業も、基礎また鞏固ならざるに先ち

自ら事を外國に構へたのは輕舉と可言

世界的に同情を得ざる所以、吾れ支那

の爲に惜む。

露國の赤化運動、各國とも夫れを憎

み敵對行爲と見る、併し夫れは獨り支

那に限つた譯でない、大使館乃至領事

館の搜索や電話交喚所の引渡しにも文

句の言へない露國、昔出放題な協約を

締結した酬に不外、無償に還付するの

がソヴェート政府の主義に合致する

筈、之を爲し能はざる所に舊露思想が

殘つてゐる、無産主義の徹底を缺く所

以。

露支兩國とも國際列外に置かれた口

舌の國、假令國境に軍力を集中して鐘

や太鼓で囃し立て、も兒戯に等しい示

威運動に不過、互に國內に内亂の憂を

の火災視する勿れ。

藏して國外に當る、夫れよりか兩國が  
恫喝の虚勢を捨て、東歐の交通を復活

することこそ、せめて外國に對する義

務を果たすものと可言、戰爭にもなら

ず解決にも向はずして此儘に推移する

ときは、投資者佛國の干渉を受けて再

び東洋の平和を攪亂するの因と爲るか

も判らぬ、切に望むところは外交手段

に依つて一日も早く事案を平和的に解

決するに在る、夫れに先つて支那は一

と先東支鐵道を原狀に回復せよ、之が

紛争を解決するの捷路。

我が外務當局、此問題に對して沈黙、

慌て、滿鐵保護に出兵するよりは上

乘、併し米や佛の行爲に追従するの亦

亦不採、最善を盡すの用意と覺悟ある

や、支那に軟弱なこと夫れは第二の東

支鐵道問題を惹起するの因、夢、對岸

▽ △

拮抗し責任者の所罰に異論を強調し元

老や官中要人の介人に依つて倒れた、

其のことは憲政擁護の爲に國民の黙過

する能はざる問題、憲政破壊者に以て

するに奇怪な軍閥の勢力を以てす、政

黨の如何を問はず憲政の爲に之等の怪

を掃滅するの覺悟を要するや切。

▽ △

政權の影を追ふて始終した床次黨、

無條件に政友會に復歸す、氣の毒にも

あり又憐れにもある、願れば清新の天

地を求めて第三黨を建設してより茲に

六年、片に倚り片に凭れて政權を追ふ

と雖、未だ其の實を獲得せず、舊夢破

れて遂に政友會に還元す、吾れ我が政

界革新の爲に、夫れを汚濁した第三黨

の潰滅を喜ぶ。

是に依つて政友會は下院に多數を占

田中政友會内閣倒る、惜むところで

無いが事の餘り急なりしに驚く、蓋し

五十六議會に貴族院に於て地租委譲を

否決され、餘り國民に效果のない不戰

條約の字義に就て樞府に糺彈されたに

も不拘、常に叩頭乃至は盲従を是れこ

と、し、曖昧な言辭を弄して世を誤間

化さむとした、其の醜態は疾くの昔國

民に信を失つてゐたところ、言はゞ今

日あるのは畢竟政友會の罪、何が故に

貴族院や樞府に對抗して議會を解散

し、憲政維持の爲に信を國民に問はざ

りしか、深き罪業今顯れ野垂れ死ぬ、

蓋し當然事。

併し、内閣が倒れたのは滿州某重大

事件に原因すと雖、陸軍々閥が政府に

むるに至つた、併し政見尠くとも地租委譲は異見を持するもの、不自然の集合たるに不過、政友會此後に於ける行動は國民興味の對照物と可言、併し政友會にしても既往の失敗に顧み、内部を改造し政策の改訂を行つて更生を圖るの時機到來したものと可言、合同を機會に生くべきの前途を誤る勿れ。

▽ △

政權は憲政の常道に従つて民政黨に落つ、蓋し當然事吾れ之を喜ぶ、併し夫れは民政黨内閣の主義政策を謳歌し之に期待するが爲ではない、會て見たるが如き中間内閣の成立を排して政權の圓滿な異動が行はれたのと、非政を敢てした内閣が變つたと言ふことを喜ぶに不過、之を謳歌し歓迎するやは現内閣此後の行動を俟つ。

濱口首相當面の政綱を聲明し、政治の公明を旨とし政治の基調を向上せしめ、國體觀念の涵養に留意し國民精神の作興に力め、綱紀を肅正して風教の振作人心の緊張に資し、日支國交の親善を圖り共助共存に力め、軍備を縮少して之を制限するに止まらず實質的の縮小を期し、中央地方の財政に一大整理緊縮を斷行して國家の消費節約を促進し國防に支障を來さざる程度に軍費

の言つたことを繼承し修正したるに非るかを疑はしむ。而かも國民の求むるところは其の實現の方途に在る。

▽ △

の整理節約を講じ、國債に就ては一般會計の新募債を廢止し特別會計に於ける募債を半減して償還を増加し、近き將來に於て金解禁を斷行し、六ヶ月内に社會政策を確立し、教育機能を更新して現時の時局に善處すと言ふ、言や咎むるところが無い、併し前内閣と雖是れ位なことは既に言つてゐた筈、新内閣の聲明として惜むらくは、前内閣

前内閣の主義政見と異ると言はゞ、須く臨時議會を招集して、夫れを國民の代表者に問ふが可い、蓋し前内閣が假令醜惡な手段を以てしたにせよ、其の主義政策は一應議會の協賛を経たもの、議會の意見を反映せしめずして政治を行はむとする所に非立憲の誹を藏す、區々たる學者の議論や、老いたる學堂乃至は自稱憲法の番人の意見に氣兼する必要はない筈、立憲の本趣に則つて行動せよ、夫れが民政黨の生る途。綱紀の肅正其の言や亦可、併し非難された前内閣の人事行政以上に出で、二十數名の地方長官を誠首したるが如

き、果たして聲明を實行したるものと言ふを得べきか吾人之を疑ふ、固より世上に所謂政友會の札付知事を誡首し、前内閣が理不盡に誡首した優秀知事を復活するのは何人も異論のないところ、併し政友會の夫れを以てするに民政黨の札付知事を以てすること、夫れは濱口總理が前田中内閣の放漫な人事行政を糺弾して政治の基調を紊し、政務と事務とを混同するものと言つた、と同様非難すべき點、朝野一と度其の地位を轉すれば其の爲すところ畢竟、猿の尻笑ひと可評。

併し地方長官は一事務官に不過、政變ある毎に之を交送すること、夫れは事務官を政務官化し、地方政治の恒久性を蹂躪し地方行政を攪亂するもの、吾れ斷じて之を不許、此積弊を改むること國民の新内閣に對する期待であつ

たに不拘、今既に夫れを裏切る、此慣例を以てせば、再び政友會内閣成るの日、之を繰返すや必定、此くして地方長官生活に二更替制度を生む、其の弊や知るべき而已、前内閣が個人的因縁と情實に囚はれ人事を決したるに反し、現内閣は黨内の事情と倒閣の論功行賞に偏して人事を決したものと可評。兩者の罪や同然、吾れ地方長官の交送を見る毎に、政友會の主張する知事公選を懷ふて不已。

日支の親善問題にしても、共助共存を旨とすべきは、反動的政策を敢行した田中内閣も言つたところ、其の非は向ふ見ずに無理して其の實行策を誤つたに在る、現内閣の對支外交も亦空疎に近き理想に偏して實際の施政に乏しき前外交の失敗を繰返さざらむことを望むや切、前途には日支通商條約の改

訂、滿蒙問題の解決が横はつてゐる、近時附き上がつてゐる支那を相手にするには、消極的微温の平和的手段を以ては不可能事、往時の思想を一變し、我が正當な權益を合法的に擁護するが必要、飽迄自主的外交を忘るゝ勿れ。軍備の實質的縮小。之も亦可。海軍縮小に就ては國際的互讓妥協に依つて實行を促進することが出來ても、陸軍に關しては各國の自發的縮小に俟つ問題、之に理屈を加えて容易に實行し難かつた問題を解決せむとす、吾人双手を擧げて共鳴する、蓋し國民經濟負擔を超過しての軍備、之あるが爲に産業の進展を抑え國力の伸長を忘るゝが如き、軍事専門家の特有な反時代的偏見と可言。國防力の主體を國民經濟の實力に置き、科學的新式兵器の改革に依つて國防の全能力を發揮せしめむと

するのが列國の合理的軍備策、吾も之に順應せむとするのは結構、其の實現が將來に迫さるるとしても、曾て四箇師團の減少を斷行した宇垣陸相の手腕に信賴し、今は其の實現を俟つ而已、要は年額二億餘萬圓に達する國費の幾何を節減し得るやに在る、現在豫算額を忘れてはならぬ。

中央地方を通じての財政緊縮、是も甚だ結構、放漫の評を受けた現年度豫算に斧鉞を加えて緊縮の實を擧げ、明五年度に於ては更に新事業を見合せ極力緊縮すると言ふ、國民經濟上喜ぶべきこと、併し放漫と言はれた政友會内閣の豫算編制方針でも矢張り第一に緊縮を旨とした、唯だ緊急已むを得ざるもの、例外を許容したに不過、従つて兩者は例外を認むるや否やの點に相違あるだけ、故に政黨の緊縮思想は之を

實際豫算の上に見なければ正當な批評を加へ難い、見給へ、昭和四年度の實行豫算を、假令夫れが年度中途に於て企てられたにもせよ、財政方針に反するものは其の事業に着手中なると契約濟なるとを問はず斷然廢止するのが當然、現豫算十七億七千三百萬圓の内八千萬圓の斧鉞を加へたと言ふも、矢張り前内閣が以て新事業と爲したるものを繼續するの計畫、併かも八千萬圓中三分二は繰延べと言ふに至つては、吾人をして聲明の眞否を疑はしむ。

徹底的の緊縮、無駄な經費を省き、不急若は無用の事業を中止するのは何人も異論が無い、唯だ手を束ねて何事も爲さずと言ふに在らば即ち已む、苟も國家が生活體なることを否認せざる限り、夫れに必要な活動の素因を要し經綸を行はねばならぬ、現内閣の緊縮

方針を歡迎するとしても、之に伴ひ此後深酷化すべき失業の問題は、都市にも農村にも波及擡頭すべきは必定、假令兩者が兩立し難い問題としても之を何とか解決すべきは政府の責任、従つて財政經濟のみの見地に捉はれて緊縮政策を固執するのは、吾れ之を採らず、産業道路豫算を削減したるが如きは其の一事例、現内閣の爲に惜む。

新年度豫算の編制にしても、曾て在野當時に聲明した、義務教育費教員俸給全額の負擔や社會政策の實行費を要する筈、是等を如何にして調達し得るや頗る疑問。濱口首相の抱持する決心は前首相と異り近年稀に見る大勇斷、國民は之に對して深甚の敬意を表すべきであるが、曾て憲政會内閣時代に片岡藏相の採つた放漫政策に終らざらむことを祈る。